

研究科題名：回復期リハビリテーション病棟退院後の生活範囲・転倒に関する調査

➤ はじめに

生活範囲の狭小化は日常生活動作能力の低下や転倒の発生、死亡率の増加につながることが知られています。そのため、病院退院後の生活範囲の狭小化を予防することは重要であると考えます。当院のリハビリテーション部では「お元気ですかコール」という調査を行っており、退院後の生活状況や転倒歴、生活空間などを電話で調査しています。病院退院後の生活空間に関する調査はいくつか散見されますが、生活空間は環境に影響されるため、地域特性を踏まえた生活範囲を調査することが必要と考えられます。また、退院後の転倒に関しても転倒場所や転倒状況を踏まえた調査は少なく、屋内での転倒、屋外での転倒では関連する要因も異なってくると考えられます。

本研究の目的は、地域特性を踏まえた患者の生活範囲に関連する要因の調査、転倒状況を踏まえた患者の転倒に関連する要因の調査をすることです。

➤ 対象

2020年4月1日～2023年3月31日の間に、当院回復期病棟へ入棟した患者さんになります。

対象者となることを希望されない方は下記連絡先まで2025年3月31日までにご連絡ください。

➤ 研究内容

①リハビリテーション部の評価記録、②リハビリテーション部の退院後調査記録、③医事課記録、④電子カルテから以下の項目を後方視的に調査します。

① リハビリテーション部の評価記録

Brunnstrom Recovery Stage (BRS)、Fugl-Meyer Assessment (FMA)、Modified Elderly Mobility Scale (MEMS)、10m 歩行テスト、Berg Balance Scale (BBS)、Trunk Impairment Scale (TIS)、Timed “Up & Go” test (TUG)、Functional Ambulation Categories (FAC)、Functional Ambulation Classification of Hospital at Sagunto (FACHS)、改訂長谷川式簡易知能評価スケール (Hasegawa Dementia Scale-Revised ; HDS-R)、Mini-Mental State Examination (MMSE)、Kohs 立方体組み合わせテスト、Trail Making Test (TMT) -A&B、仮名拾いテスト、握力、Action Research Arm Test (ARAT)、簡易上肢機能検査 (Simple Test for Evaluating Hand Function ; STEF)、Vitality Index (VI)、運転評価、嚥下機能、経口摂取の有無、コミュニケーション障害、高次脳機能障害の有無、構音障害の有無、アルブミン値、食事形態を調査します。

② リハビリテーション部の退院後調査記録

身体・生活・心理面の変化、痛みの有無、外出頻度、移動範囲 (Life Space Assessment ; LSA)、介護保険サービスの利用状況、退院後の転倒歴、および退院後の生活状況について調査します。

③ 医事課記録

年齢、性別、疾患名、回復期入棟日、退院日、介護保険の有無、退院先、取得単位数、Functional Independence Measure (FIM) を調査します。

④ 電子カルテ

現病歴、既往歴、入院日、発症日、離床開始日、発症前の居所、入院前の生活状況、経済状況（生活保護の有無）、家族情報、介護情報、発症後の合併症の有無、治療内容、リハビリ開始日、栄養情報、画像情報、病棟 ADL 状況を調査します。

➤ 個人情報の管理について

調査結果は匿名化し保管します。当院の電子カルテなどの記録より情報を取り出す際には、個人情報を特定できる情報は使用しません。また、研究関係者以外の第三者が調査結果を閲覧することができないようにします。

本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。

➤ 調査期間

調査を行う期間は倫理審査委員会承認日～西暦 2025 年 3 月 31 日

➤ 医学上の貢献

対象者が直接的な利益を得ることありません。しかし、退院後の生活範囲や転倒に関連する要因を明らかにすることで、今後の退院後の生活支援に役立てることができると考えられます。

不利益として研究対象者の個人情報の流出の可能性があります。そのため、個人情報の管理を行い、データは匿名化するなど十分に配慮いたします。

➤ 利益相反に関する事項について

本研究における開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

➤ 研究機関

老年病研究所附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 齋藤 拓之（責任者）

理学療法士 小林 将生

理学療法士 齋藤 徹

理学療法士 小山田 知弘

➤ 連絡先

〒371-0847

群馬県前橋市大友町 3 丁目 26 番 8 号

Tel : 027-253-3311（公益財団法人 老年病研究所附属病院）

担当：齋藤 拓之